



山内南共助連合会の石沢会長（左）、贈呈式の様子

◆表紙の紹介◆「トヨタ財団助成金贈呈式（山内南共助連合会）」

4月14日、東京都内のホテルでトヨタ財団2016年度国内助成プロジェクトの助成金贈呈式が行なわれました。テーマは『未来の担い手と創造する持続可能なコミュニティ---地域に開かれた仕事づくりを通じて---』。秋田県からは横手市の「山内南共助連合会」が「そだてる助成」に採択され、石沢会長が採択団体を代表して贈呈書を受け取りました。

これから未来を担う若者や高校生・中学生も含めて総働で人口減少に負けない地域づくりが始まります。

◆目次◆

- P2 ご挨拶 あきた未来創造部地域の元気創造課長
- P3 活動ウォッチング サポートセンター・ビーイング
- P4 わくわくげんき 森田照雄さん
- P5 助成金情報
- P6 助成金活用で地域を活性化しませんか





秋田県あきた未来創造部
地域の元気創造課長
坂本 雅和

新年度を迎え、皆様の県民協働推進に対するご支援につきまして、心から御礼を申し上げます。

さて、東京一極集中を是正し地方への新たな人の流れをつくるため、全国各地で地方創生の取組が進められております。本県においても、産業振興による仕事づくりや移住定住対策、少子化対策や新たな地域社会の形成を基本目標とした「あきた未来総合戦略」に基づき、様々な施策を推進しているところです。

さらに、本県の最重要課題である人口減少対策に集中的に取り組むため、この4月から新たに「あきた未来創造部」が設置され、同部の下で、地域活力創造課も「地域の元気創造課」として新たなスタートを切ったところです。

人口減少や高齢化の進行により、それぞれの地域

で抱える課題は複雑化しており、なかでも地域コミュニティの機能低下に対する不安の声が各地で聞かれます。このような中、高齢者等を地域で支える仕組みづくりや、多様な主体が連携・協働して地域課題の解決に取り組むことがこれまで以上に求められており、協働の担い手の核である NPO 等の役割は重要性を増しています。

「地域の元気創造課」では、引き続き、県北・中央・県南の3市民活動サポートセンターと手を携え、NPO・ボランティア活動の支援をはじめとする地域協働の推進に尽力して参りますので、NPO・ボランティアの皆様も活動の裾野をさらに広げ、持続可能な「地域社会」形成に大いに力を発揮していただきたいと思っております。

【地域協働推進班】業務内容

- NPO法人制度
- 協働の推進
- ボランティア・市民活動の促進
 - ・北部市民活動サポートセンター
 - ・あきた中央市民活動サポート
 - ・南部市民活動サポートセンター
- あきたスギッチファンド
- コミュニティビジネス立ち上げ支援
- 子ども交流の推進



秋田県あきた未来創造部
地域の元気創造課地域協働推進班
【住 所】秋田市山王四丁目 1-1
【T E L】018-860-1245

南部市民活動サポートセンター

県南地区の市民活動団体やボランティア、地域づくり団体、CSR 活動を行う企業等を応援しています。活動上の悩みやコミュニティビジネス、CSR 等に関するご相談に対応したり、情報提供・発信のお手伝いをしたりしています。また、市民、企業の行政が手を結び協働するためのサポートもします。

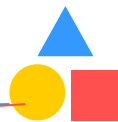
市民活動の運営の仕方や会計の仕方、団体活動の PR や情報発信をしたい、イベントや講座を開きたい、NPO 法人設立・解散等のご相談を承ります。

今年度「ハンサン」では、高校生ライターによる「わくわくげんき」、「活動ウォッチング」では皆様の活動情報を掲載していきます。また、運営資金のひとつで

ある「助成金情報」を随時お知らせしていきます。

同様にイベント情報をお持ちの方は、ぜひお知らせ頂ければ掲載しますのでご協力お願いします。

- 【相談受付】9：00～21：00（月火水金）
9：00～17：00（土日祝日）
- 【休館日】木曜日・年末年始（12/29～1/3）
※相談業務は日曜・祝日はお休みです
- 【住 所】〒013-0046 横手市神明町 1-9
- 【T E L】0182-33-7002
- 【F A X】0182-33-7038
- 【E-mail】 ssc7002@luck.ocn.ne.jp



THEME_ボランティア/NPO

地域のなかで元気で暮らす

～安心して生活できる地域社会をめざす～

DATA_団体情報

NPO 法人サポートセンター・ビーイング
理事長/寺門 敏子
湯沢市横堀字小田中 5-2
(湯沢市横堀交流センター内)
TEL・FAX:0183-52-3596

在宅、通所、施設のどこにあっても

サポートセンター・ビーイングは平成 14 年に、一人では生きる力の弱い知的障がいを持つ人たちが、地域の中で生きがいを持って安心して暮らせるようにしようと結成されました。今年でちょうど 15 周年を迎えます。在宅、通所、施設と生活の場所がどこにあっても、障がい者の方々がいきいきと地域につながって楽しく生きていけるように、スポーツ、音楽の場を提供しています。また障がい者の方とその家族の方に寄り添いの支援を続けています。

きっと元気にしてくれる

ビーイングの会には、「シンボル」として欠かせない花があります。平成 17 年に理事長の寺門さんの玄関前に咲いた小さな青い花、「幸せの青い花」です。この花は、寺門さんを始め、多くの人に元気と癒しを与え続けているそうです。

支援学校の生徒とこの花を植栽する作業を一緒にすることにより、「働く喜び」や「小さな花のたくましさから精神的な安定と癒しを得る」こ



植栽作業後の笑顔のメンバーの皆さん



ビーイングのシンボル「幸せの青い花」

とができるということでビーイングのこの活動から、地域のたくさんの方がたから理解を得るきっかけになったとか。現在は、企業や警察署の研修、支援学校での講話などの依頼を受け、団体の活動を伝

えて活動範囲を広げています。

小さな種を贈り、つながりたい

毎年恒例で開催されるフライングディスクや卓球バレー交流会等スポーツ事業も 15 周年記念事業と銘打って開催します。また、3月 30 日よりクラウドファンディング「FAN AKITA (ファンあきた)」において、『あなたに贈りたい「幸せの青い花」プロジェクト』も開始しています。全国の支援学校に「幸せの青い花」を届けるというプロジェクトです。そのスタートとして、東日本大震災の被災地であった岩手



卓球バレー交流会の様子



理事長との取材の様子

県釜石地区の岩手県立釜石祥雲支援学校に植栽しに行く予定。そして、秋に実をつけたその種を、釜石の支援学校の子どもの手で、近くの支援学校に贈ってもらい、障がいのある子どもたちに幸せを届ける「幸せの青い花」リレーを、温かい協力を得ながら進めていくそうです。このプロジェクトを始めてから、「幸せの青い花」の名称が「ナス科」「フロワリア属」の「ピスコサ」系ではと分かりました。花言葉は「祈り」。プロジェクトとして参加した方々へのリターン品として「幸せを祈る」という想いを込めたり、応援したい相手に「祈り」という花言葉はピッタリでした。(熊谷淳子)

※写真提供：サポートセンター・ビーイング

高校生ライターが聴きます！

わくわくげんき Vol.1

今年度も高校生による市民活動を伝える「わくわくげんき」を企画しました。昨年も活動してくれた横手高校定時制3年生菅原寛人君より、持ち込みされた市民活動をお伝えします。



作業場前の森田照雄さん

伝統技術を若い人たちに継承していきたいと、わら細工職人の横手市平鹿町で活動している森田照雄さんを紹介します。

森田さんは農作業が冬期間は作業がなくなるため、出稼ぎに行っていました。18年前からわら細工の活動をしています。角館にある花葉館での協議会や3月には「わら文化」交流の集いを開くなど、わら文化を広めるために日々精力的に活動しています。

僕たちが通う横手高校定時制課程にも来ていただき今年度から藁草履作りを指導して頂いています。過去には、土崎の港祭りの草履や神社のしめ縄を編んでおり、製作経験が豊富であります。ゆえにわらの長さや質に特別なこだわりを持っています。そんな繊細で華麗なわら文化にも後継者不足の波が押し寄せている現在。御年80歳を迎える森田さんは後継者を待ち望んでいます。わら文化に興味がある方は是非森田さんの工房を訪ねてはいかがでしょうか？ (菅原 寛人)



わら細工作業風景

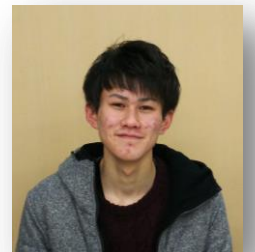


わら細工の一部



取材して感じたこと

僕自身も学校の活動において、わら草履を編んでみましたが奥深さを感じることができました。わら草履を編むことは容易ではありませんが、編み上げる過程に先人の知恵を感じることができました。後継者不足が今後の課題ではありますが、わら文化は秋田県民に身近なはずなのに次の世代を担う者が現れないのは残念でしかないと思います。



菅原寛人さん

(写真撮影、文責：菅原寛人)



「わらの文化」入門の集い
 一先わらをつつある「わら文化」を改めて伝えていきます
 日時 3/5
 場所 美郷町歴史民俗資料館
 参加費 無料
 申込 要
 お問い合わせ 0182-24-2944

「入門の集い」のチラシ



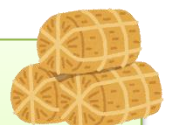
授業での様子

森田照雄さんの連絡先

横手市平鹿町浅舞小泉 155

TEL : 0182-24-2944

「先人の知恵を目にして我もまた、後に残せしわら細工の技」



◆助成金情報◆

平成 29 年度「コミュニティビジネス立ち上げ推進事業」の補助団体募集

ビジネス手法を活用して地域の抱える課題を解決する「コミュニティビジネス」を起業しようとする団体等に対し、その開業に要する経費の一部を補助するものです。

応募締切：平成 29 年 5 月 15 日（月）午後 5 時まで
 助成金額：開業経費の 1/2 以内で、かつ、上限 80 万円
 問合せ先：あきた未来創造部地域の元気創造課
 地域協働推進班
 TEL：018-860-1245



中央競馬馬主社会福祉財団平成 29 年度施設整備等助成事業

社会福祉法人、特定非営利活動（NPO）法人等が運営する社会福祉施設等に対する施設整備等の助成事業を行っています。

締切：平成 29 年 5 月 31 日（水）
 助成金額：上限概ね 150 万円
 連絡先：社会福祉法人秋田県共同募金会
 TEL：018-864-2821



平成 29 年度第 1 回「少子化対策応援ファンド」

秋田県内で行なわれる少子化対策として効果が期待できる次の事業、子ども・子育て支援に関する事業、その他少子化対策として効果が期待できる事業に対して助成します。

締切：平成 29 年 5 月 17 日（水）
 金額：上限 20 万円（4 団体）30 万円（6 団体）50 万円（2 団体）
 問合せ先：
 県南地区 秋田県南 NPO センター
 TEL：0182-33-7002



ファイザープログラム～心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援

中堅世代の人々（主に 30～50 歳代）の心とからだのヘルスケアに関する課題に取り組む市民活動および市民研究を対象とする助成です。

応募期間：平成 28 年 6 月 5 日（月）～6 月 16 日（金）必着
 助成金額：上限 300 万円
 連絡先：ファイザープログラム事務局
 市民社会創造ファンド
 TEL：03-5623-5055



平成 29 年度県民協働プロジェクト支援事業募集

多様な主体の連携・協働による実践事業を推進し、諸課題の解決や地域の活性化につながる体制づくりを拡げるとともに、県民の発想による地域特性を活かした協働の取組を公募で募集します。

応募締切：平成 29 年 5 月 31 日（水）午後 5 時まで
 詳細：
<http://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/23724>
 問合せ先：あきた未来創造部地域の元気創造課
 地域協働推進班
 TEL：018-860-1245



平成 29 年度秋田県バリアフリー推進賞募集

秋田県では、バリアフリーの社会づくりに積極的に取り組んでいる個人や団体を県民の皆様から募集し、これを表彰することで、バリアフリーに関する優れた取組を広く普及させていくことをしています。

推薦・応募締切：平成 29 年 9 月 29 日（金）
 推薦・応募対象：①視閲部門②製品開発部門③活動部門
 ④バリアフリーマップ部門
 問合せ先：秋田県健康福祉部
 地域・家庭福祉課調整・地域福祉班
 TEL：018-860-1342



第 28 回緑の環境プラン大賞

豊かな都市環境形成を図るとともに、生活の向上やコミュニティの醸成等に役立つことを願い、緑化のプランの実現のための助成をしています。

応募締切：平成 29 年 6 月 30 日（金）当日消印有効
 助成金額：シンボル・ガーデン部門 上限 800 万円
 ポケット・ガーデン部門 上限 100 万円
<https://urbangreen.or.jp/grant/3hyosho/green-plan>
 問合せ先：公益財団法人都市緑化機構
 「緑の環境プラン大賞」事務局
 TEL：03-5216-7191



活動資金調達をお考えの NPO 法人・市民活動団体向けの助成金情報です。

申請書の書き方等の相談を受け付けております。
 ご相談（0182-33-7002）ください。
 休館日（木曜日）

THEME

助成金活用で地域を活性化しませんか

助成金を活用して地域を盛り上げていきませんか。表紙で紹介しましたトヨタ財団国内助成において、「山内南共助連合会」が表彰されました。事業内容等をご紹介します。（熊谷淳子）

●トヨタ財団国内助成プログラム「育てる助成」

「未来の担い手と創造する持続可能なコミュニティー地域に開かれた仕事づくりを通じて」をテーマとして、地域資源を活用し、地域課題に取り組む仕事の創出とその担い手の育成に取り組むプロジェクトを支援している事業です。（2016年度応募 240 団体、採択は 10 団体）



助成金受賞者集合写真

●山内南共助連合会

「サンソンプロジェクト」次世代につなぐ里山のなりわいづくり

このプロジェクトは、横手市山内地域で耕作放棄地を活用して各種山菜を栽培・販売する事業と、冬場の雪よせ・雪下ろし等の高齢者世帯への支援活動を、地域事業所や自治会等多様な主体が参加して行うものです。このプロジェクトが目指すものは、地域に仕事がつくられ、地域住民の「生きがい創出」及び雪や人

口減少に負けない安心安全で持続可能な山間地域の存続を実現することです。

●プロジェクト第一弾

天然山菜を利用したレシピ開発、新しい山菜の食べ方提案を行う「山菜バイキング」体験会が 5 月に開催されます。

「山菜を使ったごちそうを楽しもう」

日時：5月13日(土) 11時受付開始～13時終了
場所：社のcafé SYANA

(横手市山内土淵字小目倉沢 43-2)

参加料：1000円

定員：20名

申込み先：山菜を使ったごちそうを楽しもう事務局
(アニバトゥルー株式会社内)

TEL：090-2953-1774

E-mail：you@annivertrue.com

担当：柴田



編集スタッフの
つばやき VOL.1

サポートセンター長
高城憲子

.....新年度が始まりました。市民活動の皆さんは今年度の計画実行や総会準備など忙しく張り切っていることと思います。使い易い助成金情報も出揃ってきました。各地区のサポセンにご相談ください。秋田県の人口減少に対して「あきた未来創造部地域の元気創造課」が発足しました。課長のメッセージにもあるように、多様な主体が連携・協働して地域課題の解決に取り組むことと、協働の担い手の核である NPO 等の役割は重要性を増しています。県北中央県南の 3 センターが地域の自立のサポーターとして機能するため、地域社会と連携しながら、新しい発想と実行力で活動して行きましょう。.....

秋田県ボランティア・NPO 活動ニュース県南版

ハンサン 2017年5月1日発行
5月号 VOL.121

発行：秋田県あきた未来創造部地域の元気創造課
〒010-8570 秋田市山王四丁目1-1 TEL.018-860-1245

編集：特定非営利活動法人秋田県南 NPO センター
(南部市民活動サポートセンター)

〒013-0046 横手市神明町1-9
TEL.0182-33-7002 FAX.0182-33-7038

南部市民活動サポートセンター

【相談受付】月・火・水・金 9:00～18:00 土 9:00～17:00

【休館日】木曜日・年末年始(12/29～1/3)

〒013-0046 横手市神明町1-9

TEL.0182-33-7002 FAX.0182-33-7038

E-mail：ssc7002@luck.ocn.ne.jp

http://www.kennannpo.org/project/supportcenter.html

